

**ServerView Suite
ServerView Deployment Manager
補足情報**

■ はじめに

本書は、ServerView Deployment Manager V5.50, V6.00, V6.00 SP1 に関する以下のマニュアルの補足情報です。本書をお読みになる前に、必ず以下のマニュアルもご覧ください。

- ServerView Deployment Manager (sv-deployment-mgr-jp.pdf)

以下の文書に、本書に記載されていない制限、留意事項が記載されています。併せてご覧ください。

- Release Notes (ReadMe_jp.htm)
(SVS DVD を使用する場合は、¥SVSSoftware¥Software¥Deployment¥DeploymentManager¥ フォルダに配置されています。ダウンロードファイルを使用する場合は、展開して作成されるフォルダに配置されています。)

■ 対象バージョン

本書は、以下のバージョンの ServerView Deployment Manager(以下 SVDM)を対象にしています。

本書の対象バージョン : V5.50, V6.00, V6.00 SP1

■ 補足情報

1 システム要件

1.1 サポート機種

ServerView Deployment Manager V6.00, V6.00 SP1 は、以下のモデルをサポートしております。
(2012年3月時点)

- TX100 S2 / TX100 S3 / TX120 S3 / TX140 S1 / TX150 S7 / TX200 S6 / TX300S6 / TX300 S7
- RX100 S6 / RX100 S7 / RX200 S6 / RX200 S7 / RX300 S6 / RX300 S7 / RX350 S7 / RX600 S5 / RX600 S6
- (BX900 シャーシ) BX922 S2 / BX920 S2 / BX924 S2 / BX960 S1
- (BX400 シャーシ) BX922 S2 / BX920 S2 / BX924 S2
- (BX600 シャーシ) BX620 S6

ServerView Deployment Manager V5.50 は、以下のモデルをサポートしております。(2011年7月時点)

- TX100 S2 / TX100 S3 / TX120 S3 / TX140 S1 / TX150 S7 / TX200 S6 / TX300S6
- RX100 S6 / RX100 S7 / RX200 S6 / RX300 S6 / RX600 S5 / RX600 S6
- (BX900 シャーシ) BX922 S2 / BX920 S2 / BX924 S2 / BX960 S1
- (BX400 シャーシ) BX922 S2 / BX920 S2 / BX924 S2

- (BX600 シャーシ) BX620 S6

1.2 サポート OS

ServerView Deployment Manager のサポート OS は、製品マニュアルを参照してください。

1.3 ライセンスおよび製品サポートについて

Deployment Manager をご使用になるにはライセンス購入が必要です。リモート OS セットアップ、クローンセットアップを行いたいターゲットサーバ数(クライアント数)のライセンスを用意してください。デプロイメントサーバ自身には、ライセンス購入は必要ありません。

・ライセンスは有償です。1 ターゲットサーバ毎に 1 ライセンスが必要です。

・ServerView Deployment Manager では有償サポートメニューをご用意しています。万が一のトラブル対応等につきましては、SupportDesk 契約が必要となります。ライセンス購入されても、本製品に対するサポート契約を締結されていない場合は、QA 対応やトラブル対応を実施することができません(有償サポート契約がある場合のみ対応可能)。本製品はその性格上、システム構築時より利用するケースが多いいため、システム構築時よりサポート契約を締結頂くことを推奨いたします。

2 動作、運用について

2.1 DOS デプロイメントのサポート終了

DOS デプロイメント機能は、V5.50 以降ではご利用になれません。Windows PE デプロイメント機能 (WinPE MDP)をご利用ください。

2.2 JobAPI のサポート終了

JobAPI 機能は、V6.00 以降ではご利用になれません。

2.3 マルチパス環境における動作をサポートしておりません。

本ソフトウェアは、マルチパス構成が設定済みの環境に対するバックアップ、リストアなどの一切の動作をサポートしておりません。マルチパス構成が設定済みの構成に対するクローニング、リモートインストール、クラッシュ リカバリは行わないでください。

本ソフトウェアがターゲットサーバの起動に使用する Windows PE は、マルチパス構成が設定されているシステムであることを認識できないため、マルチパス構成が設定された 2 つのディスクドライブを同時に認識した場合、システムドライブの一意性を確保する為に、マルチパス構成の片方のディスクドライブ内の ID 情報を更新します。

その結果、既にインストールされているシステムが起動しなくなってしまう可能性があります。

マルチパス接続環境に対してバックアップ、リストアなどの本ソフトウェアの機能を使用する場合、事前に FC パス、iSCSI Boot パスを切断してください。FC パス切断の詳細な手順につきましては、SAN

Boot 構築ガイドを参照してください。

2.4 トラブル時のログ収集

サポート契約されたお客様で、製品をご使用中のトラブルについて調査を依頼される場合、製品に標準添付されているログ収集ツールでログを採取した上でお問い合わせお願いします。なお、ログ収集ツールは、ご使用になっているバージョンのインストールパッケージに格納されている版数を使用してください。

- ・(製品インストールパッケージのルートフォルダ)¥diag¥GetRdDiag.vbs 、または
- ・(Deployment Manager インストール先)¥diag¥GetRdDiag.vbs (※V5.40 以降のみ)

以上